ながぐつの土ようび「雪の森たんけんたい」 2024 年 2 月 17 日（土）参加者 17 名（一般 13）

天気に恵まれ、家族連れの皆さんと一緒に、スノーシュー（西洋かんじき）を履いて出発。管理事務所から森に行く途中の園路でプラタナス（すずかけの樹）を観察。樹皮の下には越冬中の面白い形をした小さな虫がいました。エゾリスの足跡やクマゲラの採餌痕、ウサギやヒツジの顔に見える冬芽観察。キツツキのドラミングの音のする方を探してみると、すぐ近くにアカゲラがいました。シジュウカラやハシブトガラ、ヤマガラの姿も見ることができました。寒さも忘れて、楽しく冬の森をたんけんしました。

針葉樹の周りにたくさんエゾリスの足跡がありました。
エゾリスはいないかな？

プラタナスの樹皮下で越冬中の虫を観察。

プラタナス（スズカケノキ）は鈴のようにまるい実がなる。
公園の高井さんから実の仕組みを教えてもらいました。

小さい池で、もうすぐエゾアカガエルの産卵が始まる。

新しいクマゲラの採餌痕

オオカメノキの冬芽
良く見るとウサギに見えるかな

プラタナスの樹皮の中にいた虫を拡大
プラタナスグンバイ（相撲の行司が持つ軍配の形に由来する）